

# 令和5年度災害廃棄物対策東北ブロック協議会 活動内容

## 1. 令和5年度実施事項

令和5年度災害廃棄物対策東北ブロック協議会における実施事項は以下の通りである。

- ① 協議会の運営
- ② 人材育成事業の実施
- ③ セミナーの開催
- ④ 東北各県での研修会や説明会への出席

## 2. 実施報告

### 2.1 協議会の運営

令和5年度の協議会実施概要は表1のとおりである。なお、令和5年度の協議会についてはすべてオンラインで実施した。

表1. 令和5年度協議会開催概要

	第1回	第2回
日程	令和5年8月30日(水) 13:30~15:30	令和6年2月5日(月) 10:00~12:00
議題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度協議会活動報告について</li> <li>・今年度協議会活動・運営方針について</li> <li>・人材育成事業について</li> <li>・令和5年7月の秋田県の大雨災害について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度の人材育成事業について</li> <li>・令和6年度の協議会活動・運営方針(案)について</li> <li>・災害廃棄物処理計画策定事業費補助金について</li> <li>・令和5年度東北ブロックにおける災害について</li> <li>・東北地方環境事務所HPについて</li> </ul>

### 2.2 人材育成事業の実施

令和5年度の人材育成事業は、災害時における各県内の基礎自治体職員の事案適応力の向上を図ることを主な目的とし、別表1の概要のとおり実施した。

### 2.3 セミナーの開催

セミナーは、令和5年に東北地方を襲った大雨被害に際して、被災市町村、支援市町村、県、環境省/東北地方環境事務所、民間団体等は、発災時どのような動き方をしたのか。“支援と受援”は適切に整合していたか。災害廃棄物処理支援員制度(人材バンク)、D.Waste-net、災害廃棄物対策東北ブロック協議会、産業資源循環協会・建設業協会等の民間団体、ボランティア、自衛隊等の連携は適切に為されたか。災害廃棄物処理計画や東北ブロック行動計画、各種手引き・マニュアルの実効性は確保されたのか等に関して事例を踏まえた関係者の動きを多面的に探り、今後に向けた教訓を得ることを狙いとして開催した。

#### 【日時】

令和6年2月5日(月) 13時30分~15時30分(第2回協議会と同日)

#### 【開催場所】

オンライン

#### 【全体テーマ】

「令和5年の東北大雨災害を受けた災害廃棄物処理に係る対応一振り返りと見えてきた課題」

#### 【出席者】

41人

## 【プログラム】

	プログラム	講演者等（敬称略）
13：30	開会	一般財団法人日本環境衛生センター
13：35	第1部 「令和5年の東北大雨災害を受けた災害廃棄物処理に係る対応について、関係機関から振り返りと課題」	環境省東北地方環境事務所 秋田県 秋田市 福島県 いわき市 仙台市 秋田県産業資源循環協会
14：40	（休憩）	
14：45	第2部 事前設問に対する意見交換	一般財団法人日本環境衛生センター 事業推進役 鈴木 弘幸（モデレーター）
15：25	環境省への意見・要望について	環境省東北地方環境事務所資源循環課 課長補佐 菅原 崇臣
15：35	全体質疑応答	
15：40	閉会あいさつ	環境省東北地方環境事務所 次長 藤田 宏志

当日資料は、下記URLの東北地方環境事務所HPより閲覧可能

[災害廃棄物対策ブロック協議会の設置 | 東北地方環境事務所 | 環境省 \(env. go. jp\)](#)

## 2.4 東北各県での研修会や説明会への出席

### （1）平時のもの

- ・令和5年7月31日（月）：宮城県主催の令和5年度第1回災害廃棄物処理図上演習に、研修講師として出席。
- ・令和5年10月18日（水）：山形県主催の災害廃棄物仮置場設置訓練に、アドバイザーとして出席。

### （2）発災時のもの

- ・令和5年8月25日（金）：令和5年7月大雨災害で被災した秋田県内市町を対象とした災害等廃棄物処理事業費補助金説明会に、講師として出席。
- ・令和5年10月3日（火）：令和5年台風13号による大雨で被災した福島県いわき市を対象とした災害等廃棄物処理事業費補助金説明会に、講師として出席。
- ・令和5年10月11日（水）：令和5年台風13号による大雨で被災した福島県南相馬市を対象とした災害等廃棄物処理事業費補助金説明会に、講師として出席。

以上

## 令和5年度災害廃棄物対策東北ブロック協議会人材育成事業内容

令和5年度災害廃棄物対策東北ブロック協議会の活動として、災害廃棄物処理に関する自治体職員の人材育成を推進するため、東北各県オンライン形式で開催した。研修内容については、環境省東北地方環境事務所担当官及び各県担当者と都度協議し、各県の意向に沿う内容や進め方をカスタマイズして実施した。開催回数は、青森県、岩手県、宮城県の3県はそれぞれ1回ずつ実施し、秋田県、山形県、福島県ではそれぞれ2回ずつ実施。各県の実施概要は以下のとおりである。

	青森県	秋田県		岩手県
開催日時	2023年11月22日（水） 9:15～12:00	1回目 2023年9月7日（木） 10:30～17:00	2回目 2024年1月24日（水） 13:30～17:00	2023年12月18日（月） 13:30～17:00
参加人数	33人	28人	19人	22人
内容	<p>①「環境省における災害廃棄物対策」 講師：東北地方環境事務所 小池補佐</p> <p>②「シームレスな災害廃棄物処理を目指す～災害トイレとし尿処理・災害ボランティアに着目して」 講師：大正大学地域創生学部 岡山教授</p>	<p>午前の部 ①「被災自動車の適正処理について」 講師：MS&amp;ADインターリスク総研株式会社主任コンサルタント 石長賢一氏</p> <p>午後の部 ②「環境省における災害廃棄物対策」 講師：東北地方環境事務所 菅原補佐</p> <p>③「シームレスな災害廃棄物処理を目指す～災害トイレとし尿処理・災害ボランティアに着目して」 講師：大正大学地域創生学部 岡山教授</p>	<p>災害廃棄物処理に係る講義・設問型ワークショップ 設問数 5問</p> <p>進行：一般財団法人日本環境衛生センター</p>	<p>①「環境省における災害廃棄物対策」 講師：東北地方環境事務所 小池補佐</p> <p>②「シームレスな災害廃棄物処理を目指す～災害トイレとし尿処理・災害ボランティアに着目して」 講師：大正大学地域創生学部 岡山教授</p> <p>③「被災自動車の適正処理について」 MS&amp;AD インターリスク総研株式会社</p>
備考	県独自の研修を7月31日（月）に実施 鯉ヶ沢町の事例報告や初動対応のWSを実施	県独自の現地訓練を9月29日と10月12日に実施		

	山形県		宮城県	福島県	
開催日時	1回目 2023年7月24日（月） 13：30～17:00	2回目 2023年11月9日（木） 13:30～17:00	2023年10月10日（火） 13:30～17:00	1回目 2023年9月8日（金） 13:30～17:00	2回目 2023年11月20日（月） 13:30～17:00
参加人数	35人	15人	30人	43人	34人
内容	<p>①「環境省における災害廃棄物対策」 講師：東北地方環境事務所 菅原補佐</p> <p>②「シームレスな災害廃棄物処理を目指す～災害トイレとし尿処理・災害ボランティアに着目して」 講師：大正大学地域創生学部 岡山教授</p>	<p>①「気象災害リスクからみた水害廃棄物発生量推計と仮置場候補地選定における災害廃棄物対策」 講師：山形県最上総合支庁保健福祉環境部環境課 環境リサイクル主査 三浦大平氏</p> <p>②災害廃棄物処理に係る講義・設問型ワークショップ 設問数 3問 進行：一般財団法人日本環境衛生センター</p>	<p>災害廃棄物処理に係る講義・設問型ワークショップ 設問数 5問</p> <p>進行：一般財団法人日本環境衛生センター</p>	<p>福島県による講話 「福島県における災害廃棄物処理対策について」</p> <p>①「環境省における災害廃棄物対策」 講師：東北地方環境事務所 菅原補佐</p> <p>②「シームレスな災害廃棄物処理を目指す～災害トイレとし尿処理・災害ボランティアに着目して」 講師：大正大学地域創生学部 岡山教授</p>	<p>災害廃棄物処理に係る講義・設問型ワークショップ 設問数 5問</p> <p>進行：一般財団法人日本環境衛生センター</p>
備考	県独自の仮置場設置・運営訓練を10月18日に開催		<p>県独自の研修として</p> <p>2023年7月31日 討論型演習</p> <p>2024年1月29日 対応型演習を実施</p>		